

平成 30 年 9 月 4 日

各 位

上場会社名 株式会社アマガサ
 (JASDAQ・コード3070)
 本社所在地 東京都台東区浅草六丁目 36 番 2 号
 代表者 代表取締役社長 永井英樹
 問合せ先 経営企画室長 塩幡 健
 電話番号 (03) 3871-0111 (代表)
 (URL <http://www.amagasa-co.com/>)

平成 31 年 1 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異並びに
 平成 31 年 1 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 3 月 9 日の平成 30 年 1 月期決算発表時に開示した平成 31 年 1 月期第 2 四半期（累計）（平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）連結業績予想につきまして本日公表の実績値と差異が生じたのでお知らせいたします。

また、併せて平成 31 年 1 月期通期（平成 30 年 2 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日）の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 1 月期第 2 四半期連結業績予想数値との差異（平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）

(1) 連結業績予想数値と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株あたり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,028	51	42	16	8.64
実績値 (B)	2,753	△28	△36	△37	△20.21
増減額 (B - A)	△275	△79	△78	△53	
増減率 (%)	△9.1	-	-	-	
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 30 年 1 月期第 2 四半期)	3,117	30	29	9	4.99

(2) 差異が生じた理由

上期においては、前年と同程度の売上高を見込んでおりましたが、引き続き消費者の節約志向が強く、卸売事業における専門店向け販売が前年同期比 20.0%減、アパレル向け販売で同 36.7%減と前年を大きく下回りました。卸売事業全体では売上高前年同期比 22.4%減となりました。また、小売事業においても、直営既存店売上高が前年同期比 7.9%減となったことに加え、店舗数も減少したため、小売事業全体では同 8.6%減となりました。EC事業は自社WEB販売及び通販サイト向け販売ともに好調に推移し、売上高前年同期比 8.8%増となりました。その結果、全社では売上高が業績予想を大きく下回る結果となりました。販管費は計画を下回って推移いたしましたが、売上減少の影響による粗利の減少を補うには至らず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は計画を大きく下回る結果となりました。

2. 平成 31 年 1 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 30 年 2 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日）

(1) 通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株あたり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,904	62	46	5	3.09
今回修正予想 (B)	5,628	49	34	23	12.40
増減額 (B-A)	△275	△13	△11	17	
増減率 (%)	△4.7	△20.9	△24.6	301.5	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 30 年 1 月期)	5,902	44	23	△80	△43.20

(2) 修正の理由

下期においては、ふわさらシリーズなどの秋冬物の主力商品が計画に対し順調に推移していることなどから、売上は計画通り進捗することを見込んでおります。また、販管費は、計画を下回る見込みですが、通期では売上高、営業利益、経常利益で前回予想を下回る見通しとなります。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、税金計算を見直した結果、前回予想数値を上回る見通しとなります。

以 上